

スズキ、モーダルシフトを推進し、CO₂ 排出量を削減



スズキ株式会社は、部品・用品の輸送における CO₂ 排出量を削減するため、鉄道輸送用 31ft (フィート) コンテナを新たに導入しました。コンテナはスズキが所有し、スズキ部品センター福岡向けの輸送に利用します。

従来、スズキ部品センター福岡への部品・用品の輸送は大型トラックや鉄道輸送用 12ft コンテナで輸送していました。

大型トラック輸送は鉄道輸送と比べて CO₂ 排出量が多いこと、鉄道輸送用 12ft コンテナは大型トラックに比べて積載量が少ないなど課題がありました。

このたび鉄道輸送用 31ft コンテナを導入することで、鉄道輸送を定常化するとともに積載量を確保し、大型トラック輸送と比較して CO₂ 排出量を約 80%削減できます。

また、スズキは 2022 年 12 月にスズキ部品センター苫小牧を新設し稼働開始しました。従来の北海道への部品・用品の輸送を見直し、部品工場（静岡県湖西市）から苫小牧への輸送距離の約 8 割を海上輸送とすることで、CO₂ 排出量を約 73%削減しています。

スズキ部品センターは、スズキ四輪車の純正部品・用品の供給を行なうスズキが管理・運営する広域部品センターです。

広域部品センターは、現在日本全国 6 カ所にあり、そこから各都道府県の代理店・販売店へ素早く部品・用品を供給しています。部品・用品の即納性を強化することで顧客満足度の向上を図るとともに、代理店・販売店でのサービス業務の効率化を図っています。

スズキは、2050 年でのカーボンニュートラル実現を目指し、モーダルシフトを推進することで、CO₂ 排出量を削減してまいります。

＜ご参考＞部品輸送におけるその他の取り組み

KD梱包用資材の改善

海外向け自動車用シート輸送固定材において、従来のスチール材から段ボールに変更することで、製造時におけるCO₂排出量を約91%削減しました。

この取り組みは、「2022 日本パッケージングコンテスト」における最高位「経済産業大臣賞」を受賞しています。また、世界包装機構（WPO : World Packaging Organisation）主催の「ワールドスターコンテスト 2022」において、「ワールドスター賞」を受賞しました。

以上